



水はかけがえのないもの。各施設の役割を子どもたちは学びました。

水土里ネット西木(西木土地改良区・伊藤長三理事長)が主催する「第10回施設見学会」が10月18日に行われ、西明寺小学校4年生16人が宮田頭首工等の施設を見学しました。

児童たちは、生活に欠かせない水を大切に使うため各施設がどのような働きをしているか、水が果たす役割がいかに重要なかなど、担当者の説明を聞きながら熱心にメモをとっていました。児童たちが書いた見学会の感想文の中から、一つを紹介します。

水土里ネット西木が施設見学会 大切な水について学習しよう

頭首工と下水しょ理場で学んだこと
石郷岡 紗

わたしが頭首工見学で初めて知ったことは、鉄のゲートとゴムのゲートのことです。宮田頭首工は鉄のゲート、小山西頭首工はゴムのゲートでした。鉄のゲートは上げたり、下げたりして水の量を調節します。ゴムのゲートは中に空気が入っていてぬいたり、入れたりして水の量を調節しているそうです。下水場見学で初めて知ったことは、二つあります。

一つ目は、わたしたちが使った水をキレイにして、新しくした水を川に流すということです。わたしたちは毎日水を何回も使います。その水を何回もキレイにしていることはすごいと思いました。

二つ目は、び生物はよこれを食べていることです。わたしはび生物がよこれを食べて水をキレイにするといわれてびっくりしました。なぜなら、水は人の手や機械でキレイにしていると思っていたからです。

わたしは、水にゴミが投げられてしょ理に困る時があることが分かりました。なので、ゴミは水に投げないように心がけていきたいです。



第12回 仙北市産業祭



特別企画として、ドローンの農業利用を見据え、農業散布のデモ飛行も行われました。

農・商・工が手をつないで

10月22日・23日の両日、神代市民体育館を主会場に第12回仙北市産業祭が開催されました。

今年は両日とも天候に恵まれ、たくさんの方の来場者で会場は大いに賑わいました。

今年度の農林産物品評会には、野菜・果実などを中心に296点の出品がありました。審査では、昨年と比べ出品数は減少したものの、病害虫の発生が少なかったことにより、品種特性の表れた良品が揃っているとの講評をいただきました。

海上自衛隊の音楽隊コンサート



響き渡る多彩な演奏

10月16日、仙北市民会館で「海上自衛隊大湊音楽隊コンサート」が開催されました。

今年で発足60周年を迎えた大湊音楽隊。この日はクラシック音楽から秋田のご当地ヒーロー・超神ネイガールのテーマソングまで、多彩な楽曲を時にはしっかりと、時にはコミカルに演奏し聴衆を楽しませました。

さらにアンコールで、おなじみの軍艦進行曲が演奏される



バラエティに富んだ楽曲で聴衆を魅了した大湊音楽隊の演奏。

と、満員の客席からは大きな拍手が送られました。

田沢湖線が全線開通 50周年



田沢湖駅名看板も披露

JR田沢湖線の全線開通50周年を記念した駅まつりが10月22日に田沢湖駅前広場で、29日には角館駅前広場で行われたほか、田沢湖駅名看板の除幕式が行われました。駅まつりでは「ミニE6」や「ミニSL」の体験乗車、地元名物料理の販売やステージイベントなど両駅で特色ある楽しい催し物が行われ、多くの家族連れなどで賑わいました。また、タレントで仙北市観光大使



新設された田沢湖駅名看板の除幕式(左)。お祝いを述べる仙北市観光大使のグッチ裕三さん(右)。

のグッチ裕三さんもイベントや駅名看板の除幕式に参加し、全線開通50周年に花を添えました。

農林産物等品評会 特別賞受賞者(敬称略)()内は住所

- 仙北市長賞**
ほうれん草 佐藤喜知子(上松木内字浦子内)
ねぎ 佐藤和喜(上荒井字寺村)
箱ぞり 畠山源治(生保内字野村)
秋田県農業協同組合中央会長賞
キャベツ 鈴木朝吉(下延大前田)
白菜 青柳聡子(下延上野坊)
里芋 高橋勉(角館東前郷字後川)
仙北市議会議長賞
きゅうり 佐々木和幸(大中嶋)
秋田おばこ農協代表理事組合長賞
ブロッコリー 安藤勝巳(神代字柏林)
スナップエンドウ 草薮美恵子(藪田西村)
しもふりいんげん 高橋洋子(角館東前郷字後川)
仙北市商工会長賞
食油(ひまわり) 細川甚衛(神代字戸伏松原)
仙北農業共済組合組合長理事賞
玄米(あきたこまち) 藤川智裕(角館東前郷字杉林)
仙北東森林組合代表理事組合長賞
原木マイタケ 白岩地域運営体
仙北市農業委員会会長賞
大根 青柳聡子(下延大畑)
秋田県たばこ耕作組合組合長賞
葉たばこ(たいへい) 木村明夫(山谷川崎字川崎)



収穫された農林産物が展示され、来場者は出来栄に感心していました。



神代こども園の園児たちによる元気いっぱい発表。

駐車場には、商工会などたくさんのお店が並び、お目当ての商品を買い求めるお客さんで賑わいました。



多彩な作品の数々を鑑賞する来場者。



角館中学校吹奏楽部の演奏で幕開け。

【角館地区】
10月15日・16日（角館交流センター）
文化祭は角館中学校吹奏楽部による演奏で賑やかに幕開けしました。会場内では数多くの作品展示や呈茶でもてなし、商工会婦人部による食堂も開設されました。2日目は角館芸術文化協会会員による芸能発表も行われ、民謡や踊りなどが披露されました。



テープカットで開会をお祝しました。



会場には午前中から多くの来場者が続々と。



子どもから大人まで賑わいを見せました。



ステージでは華やかな芸能発表。

【田沢湖地区】
10月29日・30日（生保内市民体育館）
会場には、田沢湖芸術文化協会会員や田沢湖公民館を通じて活動する市民

サークルの作品のほか友達と一緒に趣味で作った手芸品、だしのこ團と神代こども園の園児による可愛らしい作品などが多数展示され、多くの来場者が訪れました。また、恒例の地元社中による呈茶のおもてなしや作りたてのお焼き、朝採り野菜などの直売コーナーも大いに賑わいました。

仙北市文化祭が地区ごとに開催され、各会場では日頃の活動成果の絵画や書道、陶芸、手芸、短歌などが多数展示。来場者は秋の日の一日を様々な文化にふれ合い楽しみました。

第11回仙北市文化祭



【西木地区】
11月3日（クリオン多目的ホール・隣接体育館）
西明寺小学校ブラスバンド部によるオーブニングセレモニーから始まった西木地区文化祭では、保育園児から大人までたくさんの方々が多量の作品を出展しました。来場された皆さんは様々な作品や芸能発表を楽しんでいました。

第44回角館町樺細工伝統工芸展



随所に光る伝統的技法
10月20日から26日にかけて角館樺細工伝承館で第44回角館町樺細工伝統工芸展が開催されました。
今回の工芸展では「海」をテーマとした審査作品をはじめ、これまで見ることができなかった職人こだわりの品など約350点が展示・即売されました。
伝統的な技法やデザインが施された作品を一目見ようと、開催期間中はおよそ3500人の



来場者が訪れ、美しい仕上がりの作品を鑑賞していました。

伝統的技法で作られた樺細工作品の数々。斬新なデザインやアイデアが施されていました。

北條雄大くん（生保内小4年）がMOA美術館作品展で最高賞

9月25日、第28回MOA美術館県南地区児童作品展の表彰式が大曲市民会館で開催され、北條雄大君（生保内小4年）の作品「六情の木」が絵画の部で最高賞のMOA美術館奨励賞を受賞しました。北條君は「シダレザクラを見ていたら、木の中に6つの色が見え、それは7月の宿泊体験学習のキャンプファイヤーで、火の神様に誓った『友情』『創造』など、6つの約



最高賞を受賞した北條雄大くん。

MOA美術館奨励賞に輝いた北條くんの作品「六情の木」。

束と重なって見えました。とても楽しかった思い出を考えながら描いたら、このような木になりました」と感想を話しました。

高規格道路整備促進フォーラム



心ひとつに活動を展開
盛岡秋田道路と大曲鷹巣道路の整備促進フォーラムが10月28日、角館町のグランデールガーデンで開催され、秋田・岩手の行政関係者など約250人が参加しました。両道路の整備促進期成同盟会の会長を務める門脇市長が「地域の元気づくりやアクセス向上を図るため活動を展開していく」とあいさつしました。また、意見発表では、仙北市商工会青年部長の島川祥さん



が「未来も道路も人がつくる。地域を残すためにも両道路の整備は必要」と述べました。

意見発表などが行われたフォーラム。壇上で意見を述べる仙北市商工会青年部長の島川祥さん。

第56回郷土民謡民舞全国大会入賞 三味線の大合奏でギネス記録更新

第56回郷土民謡民舞全国大会が10月21日から23日まで日本武道館（東京都）で開催され、民舞グランプリの部に4年連続で出場した秋田地区連合会生保内支部の藤原ミサ子社中が入賞しました。また、23日には全国の津軽三味線奏者1911人が「津軽・しょんから節六段」の大合奏を披露し、合奏人数のギネス世界記録を更新しました。このアトラクションは、2020年の東京五輪開会式に津軽三味線の合奏を取り入れてもらおうと3年前に始められました。秋田県からは8団体が参加。仙北市からは、かくのだて桜角会（山崎桜角会主）の9人が出場し、見事な演奏を披露しました。



左から順に藤原ミサ子さん、門脇市長、地主重雄さん、笹淵誠さん。かくのだて桜角会の会長を務める笹淵さんは「日頃の練習の成果を発揮することができました。ぜひ、東京五輪で迫力ある演奏を実現したい」と話しました。

平成28年度

仙北市地域輝き表彰

仙北市では、明るい社会づくりの一環として、様々な分野で社会参加し、地域の中でキラリと輝く65歳以上の市民等を表彰します。平成28年度の表彰者は次の方々です。



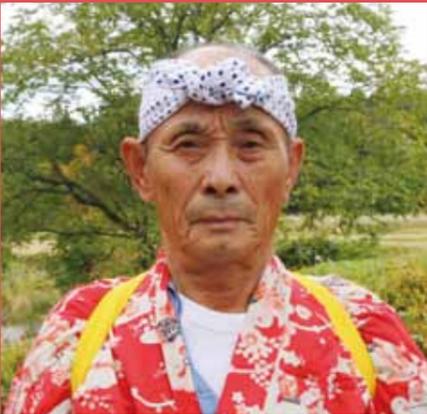
東海林勇一さん
(89歳 角館町裏町)

平成8年より、角館短歌会の会長、平福百穂顕彰短歌大会の会長を務めている。第29回国民文化祭では田沢湖・角館短歌大会企画委員長を務め、短歌という文化を次世代へつなげていくよう後継者の育成にも日々尽力されている。



高田君雄さん
(82歳 田沢湖生保内字牛沢)

長年にわたり地元野球クラブの会長を務め、現在も500歳野球大会で最年長の現役投手として活躍。古稀野球大会の県チーム代表にも選ばれ活躍。その他、登山歴30年、ゴルフや狩猟も行うなど、元気で明るい社会づくりに貢献している。



鈴木武彌さん
(74歳 西木町上桧木内字東上戸沢)

上桧木内の戸沢地域に伝わる「県指定戸沢ささら」の舞い手として活躍。保存会の会長も長年務めている。また、後継者不足の対策について、伝承講習会を実施し地域文化の継承と地域コミュニティの醸成に貢献している。



松田誠子さん
(80歳 田沢湖角館東前郷字六丁野)

長年にわたり、神代地区の婦人会など、女性が必要とされる組織に関わり、現在も継続して活動している。地域ではリーダー的な存在であるため、多くの役職も歴任。自然と周りに人が集まり、元気にいきいきと活躍している。

第43回秋田県交通指導隊大会



仙北市から優良隊員5人

10月27日、秋田市文化会館で開催された第43回秋田県交通指導隊大会で、仙北市から交通指導隊員5人が優良隊員として表彰されました。表彰式終了後、観閲式を行うため秋田市八橋多目的グラウンドに移動し、隊員の士気高揚を図り大会の幕を閉じました。表彰者は次の方々です。(敬称略)

- ▼安達政治
- ▼猪本一
- ▼芳賀

- 昌平
- ▼7年以上勤続優良隊員表彰
- ▼大平三郎
- ▼渡辺友康



優良隊員として表彰された皆さん。

全日本ジュニア空手道選手権大会



目標は日本一と黒帯

10月2日、第14回全日本ジュニア空手道選手権大会が埼玉県立武道館で開催され、小学5年軽量級の部に出場した武心会角館本部道場(湯澤浩一師範)の岩田晴君(角館小)が初出場で第3位に入賞を果たしました。10月20日に市役所を訪れ、門脇市長に成績の報告をしました。湯澤師範は「保育園の年長から空手を始め、コツコツと努力を重ねてきた。道場では後輩の面倒も



よく見てくれていて、今後もしっかりと空手を通して人間的に大きく成長してほしい」と話していました。

岩田君(中央)は「日本一と黒帯(初段)を目標に稽古に励みたい」と抱負を語りました。

熱戦展開! 仙北市卓球大会



個人・団体に多数参加

10月23日、角館中学校体育館で第12回仙北市卓球大会が行われ、約120人が参加しました。各種目1位(敬称略) ▼団体戦 角館高校A ▼個人戦 一般男子1部 茂木勇哉(卓磨会) 同2部 阿部伸也(てくてく倶楽部) 同3部 大平弘司(遊友クラブ) 一般女子1部 大和田凜(角館高) 同2部 中嶋りえ(AFCITT女子部) 同3部 藤本順子(市連盟) 中学校1年男子 安藤聖那(神代

中) 同2年男子 佐藤侑和(角館中) 同1年女子 草薮未怜(てくてく倶楽部) 同2年女子 吉田友音(西明寺中) 小学生の部 阿部大和(てくてく倶楽部)



多くの参加者が出場し、熱戦を繰り広げた今大会。息詰まる試合を制した選手たちには笑顔が見られました。

収穫祝う菌田豊穡まつり



農産物や加工品が勢揃い

10月23日、角館町白岩の菌田会館で第7回菌田豊穡まつりが開催されました。今年は、地場農産物品評会へ農産物や加工品など約70品が出品されました。審査の結果、菅原アヤ子さん(釣田)の「カリフラワー」が仙北市長賞を、下田三千雄さん(前郷)の「あけびジャム」が白岩地域運営体会長賞をそれぞれ受賞したほか、18点が入賞するなど、いずれも見事な出来栄の作品



に、訪れた方々も興味深げに見入っていました。

農産物品評会では、出来栄のよい作品が所狭しと並び、ハイレベルな審査となりました。